

## 第9章 1. 開国と幕末の動乱 e. 幕府の滅亡

15代将軍となった[1 徳川慶喜]が改革をすすめることに危機感を持った薩長両藩は[2 武力倒幕]を決意、10月14日、朝廷内の[3 岩倉具視]らを通して[4 討幕の密勅]を得た。他方、[5 公武合体]の立場をとる[6 土佐]藩の山内豊信は、政権を[7 朝廷]に返還する案を将軍に献策、同じ10月14日、慶喜は[8 大政奉還]の上表を朝廷に提出した。

同薩長両藩ら倒幕派は、12月9日、薩摩藩などの武力を背景にクーデタを執行、[9 王政復古の重大令]を発して、倒幕派主導のもと、[10 天皇]を中心の新政府を樹立、[11 江戸幕府]は滅亡した。さらに同日夜の[12 小御所会議]では、徳川慶喜に[13 辞官納地]を命じた。これに対し、慶喜は[14 大坂城]に引きあげ、新政府と軍事的に対決した。

①15代[15 慶喜]、将軍となる=[16 フランス]の援助をうけた軍制改革などの改革を実施

②1867年、倒幕派(薩摩・長州)、[17 武力倒幕]を決意  
→[18 岩倉具視]らの活動で[19 討幕の密勅]をうける(10月14日)  
↑↓  
[20 山内豊信](土佐)、後藤象二郎・[21 坂本龍馬]の説を入れ慶喜に政権返還をすすめる。  
=将軍を中心とする[22 雄藩連合]樹立をすすめる  
→10月14日 将軍慶喜、[23 大政奉還]の上表を朝廷に提出

慶喜の狙い…いったん政権を[24 朝廷]に返還、天皇を頂点にしながらも[25 徳川]家をリーダーとする[26 諸藩の連合政権]の樹立をめざす。

③12月9日 倒幕派、[27 王政復古]の重大令をだし天皇中心の新政府樹立を宣言

王政復古の重大令…[28 明治天皇]の名により[29 天皇親政]を宣言した命令。[30 将軍]はもちろん、摂政・関白なども廃止、天皇のもとに総裁・議定・参与の三職をおき、議定に[31 岩倉具視]、参与に[32 大久保利通](薩摩藩)らがあつた。これにより[33 倒幕]派が政権をにぎった。

[34 小御所]会議において、慶喜に[35 辞官納地]を要求→将軍、大坂に撤退

辞官納地…徳川慶喜に内大臣という地位の辞退と、朝廷への[36 領地]の一部返上

## 2. 明治維新と富国強兵 a. 戊辰戦争と新政府の発足

旧幕府側は、[37 1868]年1月、大坂城から京都に進撃したが、[38 鳥羽伏見]の戦いで敗れ

た。新政府は慶喜を[39 朝敵]とする東征軍を發し、同年4月に江戸城に入城、さらに[40 東北諸藩]の抵抗を破り、1869年5月には[41 箱館]・五稜郭に立てこもった榎本武揚らを降伏させ、国内統一を実現した。一年半近くにわたったこれらの内戦を[42 戊辰]戦争という。

①薩摩藩の挑発→1868年1月[43 鳥羽伏見]の戦いで幕府軍、新政府軍に大敗

②[44 戊辰]戦争(1868~69年)・・・[45 新政府]軍と[46 旧幕府]軍の戦争  
→新政府軍による全国統一実現

ア)1868年1月 鳥羽伏見の戦い→幕府を[47 朝敵]とし東征軍を發する

イ)1868年4月 [48 江戸]城の無血開城→[49 彰義隊]戦争(上野戦争)

ウ)1868年 [50 奥羽越列藩同盟]を結ぶ[51 会津]藩・長岡藩など東北など諸藩を破る

エ)1869年5月 [52 五稜郭]戦争、函館に立てこもる旧幕臣軍を破る。

新政府は、戊辰戦争と並行して、政治刷新を進めた。1868(明治元)年1月には[53 諸外国]との間の対外関係を整え、3月には[54 五箇条の御誓文]を公布した。ついで同年閏4月には[55 政体書]を制定して政府の組織を整え、欧米的な近代政治の体裁をとった。政府は、7月江戸を東京と改め、9月に年号を[56 明治]と改元、翌1869年には首都を[57 東京]に移した。

他方、政府は民衆に対し[58 五榜の揭示]をかかげ、旧幕府の対民衆政策をそのまま引き継いだ。

③1868.3 [59 五箇条の御誓文]発布

五箇条の御誓文…[60 公議世論]の尊重と[61 開国和親]など新政府の国策の基本を示した文書。天皇が百官をひきいて神々に誓約する形式をとり、[62 天皇親政]を強調した。[63 坂本龍馬]の「船中八策」を元としたといわれる。

④ 閏4月 [64 政体書]…政府組織の整備(アメリカ式の三権分立)  
権力を[65 太政官]に集中

7月 江戸を東京と改称(翌年、首都に)

9月 年号を[66 明治]と改元([67 一世一元]制をとる)

④[68 五榜の揭示]

五榜の揭示…君臣・父子・夫婦間の[69 儒教的道德]を説き、[70 徒党・強訴]や[71 キリスト教禁止]など、旧幕府の対民衆政策を[72 そのまま引き継いだ]。